



みどりの通信

東地方農林水産事務所普及指導室

〒030-0801 青森市新町二丁目4-30 (Tel 017-734-9965、fax 734-8305)

電子メール hi-nosui@pref.aomori.lg.jp



左堰営農組合の設立総会

新年あけましておめでとうございませう。
今年もよろしくお願ひします。

東青地域初の集落営農組織設立!

昨年11月19日、青森市左堰集会所において左堰営農組合の設立総会が開催されました。

設立発起人代表(現 左堰営農組合長)長谷司氏が「集落営農組織なしには地域農業を守ることができない」と力強くあいさつ。満場一致で組合の設立が可決され、構成員数37戸、経営面積72haの新組織が発足しました。

当組合では、一昨年11月から集落営農に関する研修会等を開催。農事振興会と転作組合の役員が幾度となく話し合いを重ねるとともに、全農家を対象としたアンケートや役員への個別訪問等により、集落の合意形成を図りました。当初、小麦の生産条件不利補正対策(通称 ゲタ対策)の加入を目指していましたが、話し合いの結果、

37戸中34戸の農家が水稲と小麦の収入減少影響緩和対策(通称 ナラシ対策)に加入することとなりました。

東地方農林水産事務所管内では、左堰営農組合が品目横断的経営安定対策の加入要件を満たした集落営農組織の第1号となります。左堰集落の取組は、新あomorい農協後潟支店管内の集落に波及し、11月22日には六枚橋集落でも集落営農組織の設立に至りました。

今後、当事務所では、外ヶ浜町蟹田地区の5集落や蓬田村郷沢集落等を対象として、水稲や大豆、そばを組み合わせた集落営農組織の設立を支援していきます。

「冬の農業」寒締めちぢみほうれん草栽培



いまべつ寒締めほうれん草現地検討会の様子

今別町の「いまべつ野菜の会（代表 本郷良克）」では、ハウスの有効利用と所得確保のため、二股地区のガラスハウス等で「寒締めちぢみほうれん草」の栽培に取り組んでいます。

冬のハウス栽培は、非常に雪が多く、除雪対策が大きな課題となっていたため、冬期間のハウス栽培は困難でなかなか普及してきませんでした。そこで、いまべつ野菜の会では、町から500坪のガラスハウスを借り受けて、春からはなすやほうれん草を栽培し、その跡作として平成14年から「寒締めちぢみほうれん草」の栽培に取り組ん

でおり、今年で6シーズン目となります。

品種は「朝霧」を使用し、黒マルチ栽培としています。直播栽培では10月9日には種、移植栽培ではJA東つがる育苗センターで育苗された15cmほどの苗を10月22日に1本ずつ移植し、12月下旬から出荷しています。

本年度は、あおもりの「冬の農業」産地拡大普及展示ほも受託し、移植栽培と直播栽培との比較や、出荷時期・糖度、経済性の検討を行い、今後の栽培に活かしていくこととしています。

出荷先は、主に青森市場で、青森市内のイトーヨーカドーやジャスコなどでも販売されています。食味の良さから高評価を得ていますが、販売量が少ないのが課題となっていることから、今後は作付面積の拡大や出荷量増大により、今別ブランドを確立していきたいと考えています。



成育中の「寒締めちぢみほうれん草」

青森市産りんご 地元での販売・PR

昨年11月に開催された県の各種イベントにおいて、青森市りんごの販売とPRがされました。

11月11日～12日に青森産業会館で開催された「県農林水産祭」には、浪岡農協が参加し、エコファーマーが生産したりんごを販売しました。当日の会場は、悪天候にもかかわらず午前10時のスタート前からお客さんが並ぶなど盛況で、準備した「ふじ」、「王林」などの売れ行きも好調でした。

続いて11月18日～20日には「ふるさと産品フェア」がサンロード青森・ジャスコ青森店で開催され、青森市りんご研究会連合会や浪岡地区の生産者が昨年に引き続き参加しました。この中で、青森市りんご研究会主催の品評会で入賞した「ふじ」等も販売され、一部は初日で完売するなど好評でした。



浪岡農協のりんごを買い求める人々

東青産そばの有利販売に向けて

普及指導室では、そばの生産性向上と、地産地消の推進による販売拡大に向けた取り組みを進めています。

昨年度のアンケートによると、そば店からは生産段階でそばの品質は高いが、収穫後の乾燥・保管方法の改善を求める意見がありました。また、東青産そばの試食では、参加者の食味満足度が高く、もっと食べたいという声がほとんどでした。

これを受けて今年度は、そば店からの要望に応えるため高品質生産と市内そば店等における東青産そば取扱量拡大を中心に進めることとしました。

まず、農協、転作組合等生産者を集めた打合せ会議を昨年8月29日に行い、本格的な収穫期の前に、そば店等への対応や供給体制、乾燥・保管方法等について検討しました。

10月10日には、そば店対象に生産現場見学会を開催しました。収穫期のは場や乾燥・保管場所を見学したところ、玄そばの品質が高く、生産体制が整っているとの意見が聞かれ、取扱に向け好感触が得られました。

また、契約栽培を希望するそば店に対しては、要望に応えられるよう、は種前から積極的に意見を交換して生産面に取り入れ、個別には場見学等を実施しました。

その後、そば店へサンプルを提供した結果、青森市内の東青産そば取扱店舗は、現在6店となっています。

さらに、消費者PRのため、11月22～24日にイトーヨーカドー青森店において「東青新そばまつり」を開催しました。4団体の協力を得て、そば打ち実演のほか、そば・そば加工品の試食販売を実施したところ、盛況でそば産地としての東青地域を大いにPRできました。

今後も、継続してそば取扱店舗の拡大等に取り組むこととしています。



自然乾燥のそばは、そば店に高評価



そば打ち実演に子供たちも釘付け

青森市内の東青産そば取り扱い店舗

- | | |
|-----------------------|--------------|
| (1) そば処正嵐 (青森市古川) | ～青森市後潟産～ |
| (2) カネシメ柿崎そば店 (青森市長島) | ～青森市後潟産～ |
| (3) 扇屋手打ちそば (青森市浪館) | ～青森市夏井田・孫内産～ |
| (4) しもばしら (青森市浜田) | ～青森市後潟産～ |
| (5) 和 香 庵 (青森市久栗坂) | ～青森市夏井田産～ |
| (6) 県庁生協食堂 (青森市新町、長島) | ～青森市夏井田産～ |

＝女性リーダー、森内勇外ヶ浜町長と大いに語り合う＝

昨年の10月31日(金)に外ヶ浜町の小国ふるさと体験館で、地域の豊かな資源を生かした新たな取り組みについて女性の声を反映させる目的で「農漁村女性リーダーと外ヶ浜町長との懇談会」が行われました。

外ヶ浜町の女性リーダーとして、VIC・ウーマンとVIC・ウーマン候補者の他に産直活動等をしている団体代表者の合わせて11名が出席しました。

はじめに、古川普及指導室長から「管内では農水産物加工や直売等の新たな部門に参画する女性が増え、その活躍が期待されているので、森内町長と大いに



語ってほしい」とあいさつがありました。女性リーダーから、「食」をとおした蟹田・平舘・三厩の活発な交流や多忙となった漁業経営改善、道の駅を拠点とした地域の活性化、高齢農業者でも取り組める施設野菜栽培の普及、みんなの心を癒す美しい地域づくり、地域の子供達をどう育むかなど、多岐にわたる活動への提案がありました。

森内町長からは、「ただ働くだけでなく、折をみて集い、楽しく、笑いを誘うような話に花を咲かせてほしい。地域活性化のために、みんなの気持ちを一つにして、地域ぐるみの活動に繋げることが大切。農漁村女性の意見を聞く機会は少ないが、先を良く見据えている皆さんの意見を大事にしたい。これからも、いいもの作りをしていただき、自信を持って外ヶ浜町を売り込み、みんなに知ってもらおうようにしたい。」などの意見を頂き、最後に「相手の立場になって考えることのできる皆さんの活動で、地域が活性化されることを信じている」と女性活動に対してエールが贈られて閉会となりました。



第12回 元気なかつちゃの

味 自慢・で 自慢

平成19年1月19日(金)～20(土)

10時～16時

青森県観光物産館アスパム

1階イベントホール

東青地域オリジナルの特産品が大集合します。皆さんおいでください。

- 元気なかつちゃの味即売会
- 東青の味抽選会
- 先着50名様に「東青の味」プレゼント
- かつちゃの自慢料理実演&試食

	19日(金)	20日(土)
11時～	そばかりんとう	11時～ さくさくステック
12時30分～	アピオス入りおこわ	13時～ トマトうどん

